



こんにちは

日本共産党品川区議会議員

# 鈴木ひろ子

です

鈴木ひろ子事務所 中延2-11-7 Tel.3783-8833  
日本共産党区議団控え室 Tel.5742-6818

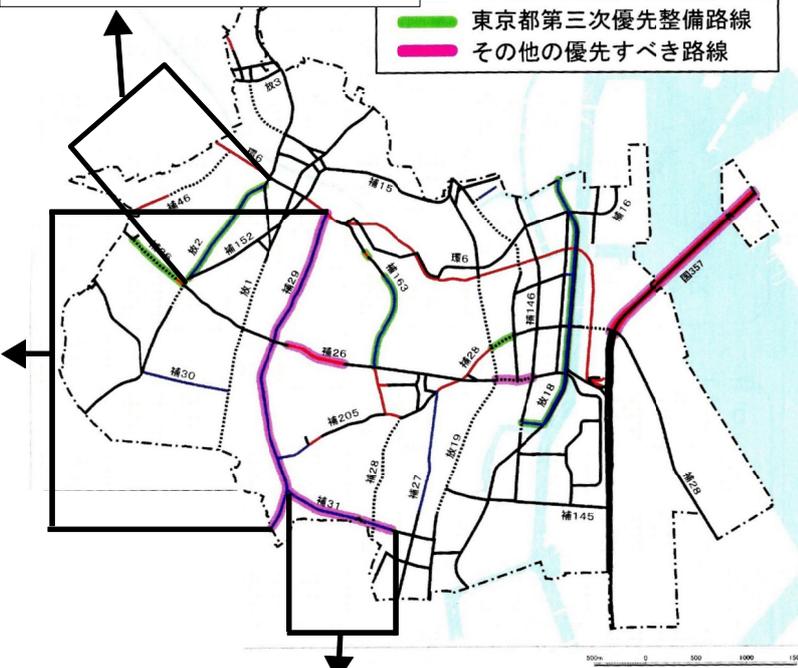
このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

## 品川でも、防災の名で 道路づくりに税金1300億円

### 補助29・31号線、放射2号線を2020年完成目指す

「放射2号線・幅25m」  
西五反田7～荏原2まで1.2km

東京都第三次優先整備路線  
その他の優先すべき路線



「29号線・幅20m道路」大崎警察署隣から戸越公園駅を通り大田区の環7までの3・5kmの計画

「31号線・15m道路」補助29号線から枝分かれし、西大井を横断する区道の道路計画

住宅地に幅25m、20m、15mの道路づくり。長さ合計6km

東京都は6月末、2020年までに100%完成を目指す都市計画道路を指定。品川区内の3本の道路づくりに1300億円もの税金投入です。都や区は、延焼遮断のためと言いますが、防災のためには、木造住宅耐震化や火災予防こそ求められているのではないのでしょうか。

東京都は、昨年12月に「木蜜地域不燃化10年プロジェクト」を発表、2020年までに100%完成を目指す都市計画道路を指定すると語っています。

た。6月28日、都は都内23路線、23kmの指定道路を発表。品川では放射2号線幅25m・1.2kmと、補助29号線幅20m・3.5kmを特定整備路線として指定しました。品川区は同時に区道・補助31号線幅15m・1.1kmも整備するとしています。

今まで整備された道路の事業費から算出すると、3路線の整備に投入する税金はなんと1300億円にも上ります。

8年間で100%完成めざす?!

補助29・31号線、放射2号線は、昭和21年に戦災復興都市計画道路として決定された道路です。戦後67年間、計画はあっても整備されないまま経過。ところが東京都は昨年の大震災後、延焼遮断帯という

防災を理由に、わずか8年間で100%完成をめざすと打ち出したのです。

### 住宅六六〇戸・小学校など12施設、10商店街を縦断

道路計画は、たぐさんの住宅を立ち退かせ、いくつもの商店街や公共施設を縦断し進められます。

補助29号線上には、住宅550戸、9ヶ所の公共施設(宮前小学校、大崎幼稚園、戸越幼稚園、若葉公園、ひだまり公園、ゆたか防災広場、障害者のふれ

あい作業所、立正中学・高等学校)、10商店街(百反、戸越銀座、宮前、戸越公園駅前など)、補助31号線上には、住宅110戸、公共施設3ヶ所(大井水神公園など)があります。

### 秋に説明会・測量、来年度道路用地買収へ急ピッチ

道路計画の地元への説明は、「これから」というのです。都は、「今年秋にも説明会を開き測量を実施。その後事業計画を作成し、関東整備局に事業認可を申請。認可がおり次第、来年度にも道路用地取得へ動き始めたい」と説明します。

事業認可後は、路線上の土地・建物売買や新たな建設は禁止され、放射2号・補助29号線は東京都が、31号線は品川区が用地・建物の買収をスタート。土地買取り価格は時価で、原資は私たちの税金です。

### 「防災のため」というが…

東京都も品川区も道路づくりは延焼遮断帯をつくる防災対策だと強調します。確かに道路があれば反対側に燃え広がりにく

くなります。しかし、道路に囲まれた中の対策をしなければ延焼は防げません。また、道路をつくることでたぐさんの車を呼び寄せ、車両火災の危険性も指摘されています。

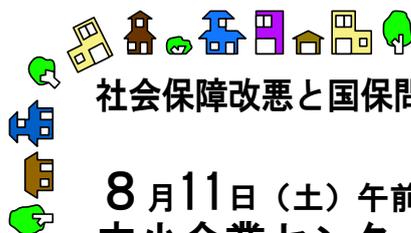
### 木造密集対策というなら、住宅耐震化・不燃化を急げ

今回の道路づくりには1300億円もの税金投入が計画されています。木造住宅の耐震補強工事にかかるお金は1軒当たり約300万円。品川区自らが掲げながら3%しか進んでいない木造住宅耐震化9800棟を全額助成して耐震化しても約300億円、道路づくりの税金の4分の1で可能です。

木造密集地域の対策というのであれば、何よりも住宅耐震化や初期消火体制の強化、地域の防災のコミュニティづくりにより本腰を入れた取り組みこそ求められているのではないのでしょうか。



中延2丁目の方から「狭い私道を建物解体のトラックが入ってきて植木鉢などを倒しながら無理やり通っている。何とかならないか」との相談を受け、区に左写真の看板をつけていただきました。どんな事でもお気軽にご相談下さい。



### 社会保障改悪と国保問題学習会

8月11日(土) 午前9:30~  
中小企業センター 大講習室

講師：谷本諭さん  
(日本共産党中央委員会・政策委員会)

主催：品川の医療と介護をよくする会

